



富士の恵みの理想郷

富士地域の農林業

令和6年4月

静岡県富士農林事務所



富士地域の概要

■立地条件

海拔0メートル地帯から富士山頂まで3,776メートルの標高差を有し、富士山、愛鷹山を背に南西に広がる緩やかな傾斜地と、海岸線から8キロメートル以内の範囲に広がる平坦地で占められ、地質は肥沃となっています。

■気象条件

平均気温は、観測地点のある南部平坦地域では15.6℃、北部丘陵地域では南部平坦地と比較して約5度低いと推測されます。年間平均降水量は2,000～2,500ミリで、温暖多雨地域から冷涼多雨地域にまたがっています。

■交通、運輸条件

陸上輸送は、東海道新幹線、東海道本線、身延線及び岳南鉄道、東名高速道路、新東名高速道路、国道1号線、国道139号線、同西富士バイパスなどの幹線道路、海運の拠点である田子の浦港があり、地域産業の発展を支えています。

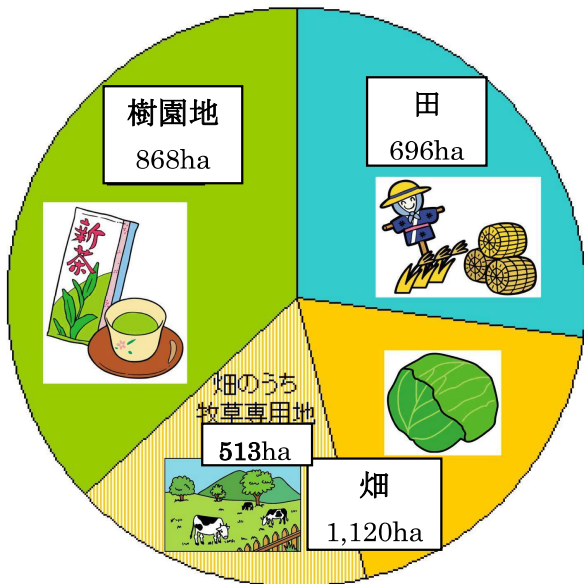


(富士地域の)
農業

耕地面積 (R4)

5,230ha

田 : 1,425ha
畑 : 3,810ha



農業経営体における経営耕地の状況
(2020年農林業センサス)

■**富士地域**の耕地面積は5,230haで全県比の8.7%となっています。北部丘陵地には全県牧草専用地の約3/4を占める一大草地酪農地帯が形成されています。

令和3年の農業産出額は327億円(全県比15.7%)で、作目別には畜産の233億円を筆頭に、米、野菜、茶、花きの順となっています。



岩本山の茶園から望む新東名高速道路と富士山

(富士地域の)
林業

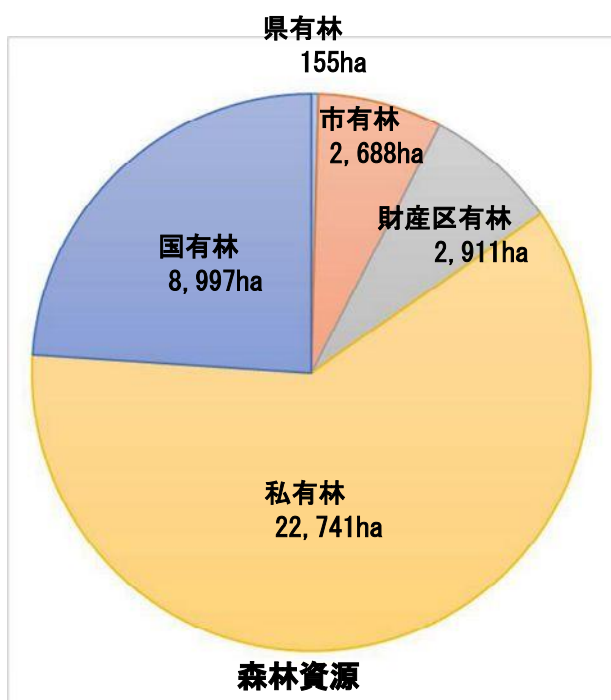
森林面積

37,492ha

民有人工林面積 : 22,320ha

■**富士山麓**の緩傾斜地に広がる管内の森林面積37,492haのうち、民有林の人工林面積は22,320ha、人工林率は78%です。また、人工林のうち46年生以上の利用可能な林齢の森林が約90%に達するなど、資源が充実しています。

林業・木材団体等では、地域で産出されるヒノキを「富士ひのき」として産地化することを目指して生産を行っています。また、管内における山林用苗木の生産は、全国的に有名で県内生産量の52.6%を占める主要生産地となっています。



森林資源

(令和5年度静岡県森林・林業統計要覧)



富士山西麓に広がる人工林

多彩な農芸品の生産拡大・競争力強化

消費の創出と多彩な農産物の生産

■意欲的な農業者への農地集積と 農地の有効利用

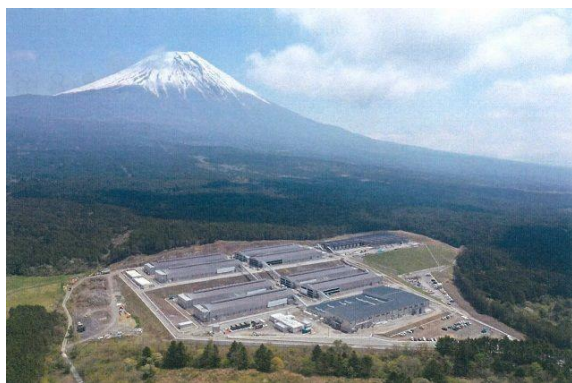
優良農地の維持と生産コスト削減を図るため、農地中間管理事業や基盤整備による担い手への農地集積・集約化や圃地改良を進めています。また、市・農業委員会・農協との連携により、人・農地プランの策定・実質化と荒廃農地の発生防止・利活用を推進しています。さらに、作業効率の高い農業を展開するため、区画整理や農道、水利施設の整備を行っています。



地権者説明会



富士宮市猪之頭の基盤整備



大規模鶏卵施設

■経営体の競争力強化

畜産地帯では、産出額増を目指して施設整備・自給飼料の生産拡大・畜産産地のブランド化を進めています。茶業経営では、需要が見込まれる有機栽培茶やドリンク用原料茶生産などに取り組むとともに、茶の補完作物の導入を推進して、農家所得の改善を目指しています。

■技術の開発と普及

県オリジナル品種等優良品種の導入やスマート農業をはじめ高度な技術の普及を進め、付加価値の高い高品質な農畜産物の生産を支援しています。施設園芸では、収量や品質を高めるため、温度、湿度、二酸化炭素濃度などの管理・制御する高度環境制御機器の導入を推進しています。



スマート農業の実演

次代を担う農業経営体の育成・「食」「茶」「花」の都づくり

■人材の確保とビジネス経営体の育成

経営感覚に優れたビジネス経営体の確保・育成に向け、コンサルティング活動や専門家派遣、経営支援セミナーを開催しています。

また、就農希望者の相談業務や各種支援制度を活用することで、独立就農や農業法人等への就職など新規就農の取組を支援しています。



経営支援セミナーの開催



食育講座

■6次産業化の推進

農林業者が加工、流通・販売分野に挑戦し、1次、2次、3次産業を総合的に組み合わせ、お茶や畜産などで新しい商品やサービスを開発、販売する取組を支援しています。

支援に当たっては、専門アドバイザーの派遣や、補助金を活用した加工施設の整備等、消費者ニーズにあった売れる商品づくりを進めています。

■地産地消の推進

富士地域で生産された地場野菜などの農畜産物の良さを消費者にPRするため、農林業者や加工業者及び飲食業者との連携強化に努め、地域内での販路拡大、商品開発などを支援しています。また、学校給食における地場産農畜産物の利用拡大とともに、食農体験学習などを通じて食育活動を進めています。



酪農家による牛乳プラントの設立

美しく活力のある農山村の創造

環境と調和し、人々を惹きつける都びんさと農山村の再生



ふじのくに美農里プロジェクト(富士東部地区)

■企業と農村の協働

地域社会への貢献に関心の高い企業が増えています。一方、過疎化や高齢化が進む農山村では農業の生産活動の維持に向けて新たなパートナーを求めています。農山村と企業が持つ、それぞれの資源、人材、ネットワーク等を活かし、双方にメリットのある協働活動を目指す「一社一村しずおか運動」に取り組んでいます。

■鳥獣被害対策の推進

富士地域では、ニホンジカを中心として鳥獣被害が多く発生していることから、富士地域鳥獣被害対策連絡会を開催し、総合的な被害防止対策を推進しています。

また、市鳥獣被害防止対策協議会の活動を支援し、地域が一体となって対策に取り組むための住民参加型研修会を開催するほか、捕獲した獣肉の食肉としての利用拡大を進めています。

■地域協働活動の強化

高齢化・混住化等により、農村環境を守る集落機能の低下が危惧されています。このため、地域のあるべき姿を地域自らが考え行動することにより、農村の再生と活性化を推進する体制強化に向けた取組への支援を行います。



天子ヶ岳において日大生と芋の定植



住民参加型の電気柵設置研修会

美しく活力のある農山村の創造

■農山村環境の整備

多様な地域の担い手が住みやすく、農業経営をしやすい生活基盤整備を進めます。また、県民の暮らしを守る機能を強化するため、洪水、湛水を未然に防止する施設整備を進めます。



農村活性化施設「富士山縄文の里大鹿館」

■地域資源を活用した

農村コミュニティの活性化

富士地域の自然、伝統文化や富士山を中心とした景観等、恵まれた農山村のフィールドと人材を活用し、国内外からの来訪者に農業体験や自然体験などの観光コンテンツ等を提供することで、農村コミュニティの活性化を進めています。



「茶の間」の設置

■ふれあいの場としての農山村の活用

多様なニーズに対応した市民農園や学校で農業体験活動を行う体験農園などの開設とその運営を支援しています。また、農業分野での障害のある人の就農など農福連携の取組を進めています。



地域の児童による田植風景(富士宮市)

県産材の供給能力の向上

県産材の需要と供給の一体的な創造

昭和 31 年から 34 年にかけて、県の重要事業の一つとして実施した、富士山麓林業開発事業を契機に、ヒノキを主体とした人工林が造成されました。

現在では、その多くの森林が利用時期に達しています。

充実した森林資源を活用するため、施業の集約化と作業の機械化による木材の安定供給体制の整備を図るとともに流通改革、製材加工体制の充実に取り組んでいます。

■安定供給体制の構築

林業労働力確保の促進に関する法律に基づく経営意欲の高い林業事業体を林業事業主として認定し、事業の合理化や雇用管理の改善を支援しています。また、木材生産の効率化や低コスト化を図るため、林道等の基盤整備と作業の機械化を進めています。



林内作業と輸送・流通の効率化を担う
林道整備(富士宮市・林道天子ヶ岳線)



高性能林業機械(ハーベスタ)の
導入(富士宮市)

■人材の育成及び確保

林業への就業を求める人や労働力確保を検討する雇用主に対して、就業説明会の情報等の提供や業務委託により雇用機会を創出することにより、林業従事者の確保・育成を図っています。また、林業従事者の技術向上に対して、国県の実施する研修制度の情報を提供するとともに、技術者登録制度への登録を進めています。



林業従事者に対する技術研修
(緑の雇用事業)



原木市場の再編整備
(富士木材センターに導入された選別機)

■流通改革の促進

製材工場の求めに応じて、迅速に樹種・径・長さを選別できる設備の導入、はい積作業の機械化等により原木市場の効率化や低コスト化を支援しています。また、原木の取引は、従来の入札制度に加えて、相対取引や大型製材工場等との協定取引の導入により、市場を経由しない山土場渡しなどの検討を通じて、流通の合理化や定時定量の出荷体制の構築を支援しています。

県産材の需要拡大

平成25年度に、富士地区林業振興対策協議会（以下「林対協」）は、富士山の環境保全に貢献し、世界文化遺産の価値を高めることにつながる新ブランド「FUJI HINOKI MADE」（以下「FHM」）を創設しました。FHM材の販路拡大のため、平成29年7月には「フジヒノキメイド有限責任事業組合」（以下「LLP」）が設立されました。

県では、住宅を建築する県民に、県産材の家づくり支援制度を活用して、建築費の助成をするとともに、公共施設などへの県産材活用を進めるため、公共部門県産材利用推進富士地域連絡会を開催して、県産材の活用事例等の情報交換を進めています。



㈲まるいチップ工業
フジヒノキメイド工場

森林の保全

治山工事により台風、地震などによる山崩れや、溪流の土砂流出等の災害から県民の生命・財産を守り、災害に強く安全で暮らしやすい県土づくりに努めています。

快適で健全な県民生活に欠かせない水源等、特に重要な森林は保安林に指定し、森林の持つ公益的機能が十分に発揮されるよう適正な管理をしています。また、自然にやさしい森林開発の観点から、林地開発許可制度により、森林の大切な働きを無秩序な開発から守っています。



台風後の河川氾状況(富士宮市)



塩害等の被害を受けた松林(富士市)



流路を固定し乱流を防止する



抵抗性クロマツを植栽し、松林の回復を図る